

1 本年度の重点教育目標

自ら課題をもち、主体的に粘り強く活動しながら、地域の未来を担う子どもたちの育成

2 本年度の取組の重点

○変化する社会の課題に挑戦しやり抜く力を育む教育活動の推進(小中一貫教育)(自立)
 ○「困っている生徒」に関心を持ち、支え合う支持的風土を要する組織作り(共生)
 ○函館・南茅部地区に愛着と誇りをもち地域の未来を担うキャリア教育の推進(創造)
 ○保護者・地域と連携し教育活動が地域社会を幸せにできるような教育課程の確立(つながり)

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見(改善策など)
学校運営	○地域や保護者の願いをふまえ、地域の特色を生かした教育活動を工夫するとともに積極的な情報発信ができたか。	a	・地域を重視した教育活動の展開を更に推進していく。 ・学校だより等を通じた情報発信を継続していく。	A	A	・地域の特色を生かした積極的な情報発信ができていると思う。
学習指導	○基礎的・基本的な知識・技能を習得し、すべての生徒が学びの楽しさを実感し活躍できる授業づくり、および校内研修の深化に立った授業改善ができたか。 ○主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善の推進ができたか。	b	生徒が「わかる」、「できる」等、授業改善を強化する。 ・1人一台端末を効果的に活用した、授業の取組を強化する。	A	A	・全国学力学習状況調査の道の平均が全国より低く、なお道南はより低いことで、学校だけではなく、家庭と一体になって、向上努めなくてはならないと思います。
生徒指導	○支持的風土が醸成された学級づくりが推進され、いじめ未然防止等への校内体制の整備および推進の充実を図ることができたか。	a	・いじめや問題行動等、迅速で適切に対応する体制を強化する。また、保護者や関係機関と連携した取組を充実させる。	A	A	・改善の方策は適切と思う。いじめのない学校をめざしてほしい。 ・小中での情報の共有が大事になってくると思います。
ふるさと・キャリア教育	○函館・南茅部地区に愛着と誇りをもち、地域の未来を担うキャリア教育を推進できたか。	b	・各学年で計画した、地域の学習を継続し、学習内容の充実を図る。	A	A	・地域とのつながりが、ちょっと不足。コロナ禍で仕方ない。 ・地域の学習を充実した内容だと思う。
健康・安全教育	○けがや体調管理を意識するとともに安全に留意し、体力の向上や望ましい生活習慣を確立する態度を育てる活動を充実できたか。	b	・生徒の健康の増進と体力の向上に努める。 ・生活習慣の確立に向けた取組を充実させる。	A	A	・コロナ拡大の影響で生徒は大変なストレスを抱えていると思う。スマホ問題など家庭の連携を密にお願いしたい。
地域や家庭と連携した取組	○学ぶことの意義を実感し、一人ひとりの資質・能力を伸ばす教育環境の整備のための小中一貫教育の推進、学校運営協議会による連携・協働体制の構築を図ることができたか。	a	・積極的な情報発信に努めていく。 ・小中連携の充実を図り、関係機関との連携、協働を強化する。	A	A	・コロナ禍で、学校訪問など運営協議会委員としての役割を果たしてはいたのですが、地域との連携に努めていきたい。 ・学校と家庭の温度差を感じる。 ・世界遺産大船・垣ノ島遺跡のある町として、誇りをもち、地域や家庭と連携した取組が望ましいと思う。

■ 自己評価達成状況

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

a	ほぼ達成できた (8割以上)
b	概ね達成できた (6割以上)
c	十分ではない (4割以上)
d	達成できなかった (4割未満)

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。